

令和4年12月8日
中部地方整備局
清水港湾事務所
静岡県
御前崎市
牧之原市

御前崎港において、アマモ場の保全活動(海岸清掃)を実施します

～ 「ブルーカーボン」を活用した環境に優しいみなの目指して ～

御前崎港西側の久々生(くびしょう)海岸に、静岡県指定の準絶滅危惧種であるコアマモやアマモ等が自生・群生しています。アマモ場などの海草は、光合成により、地球温暖化の原因の一つであるCO₂を吸収して成長し、炭素を隔離します。しかし、当海岸には、ゴミや流木が漂着しており、今後、台風等により漂着物が増加すれば、アマモ場に影響を及ぼす恐れがあります。

清水港湾事務所では、アマモなどの「ブルーカーボン」※¹の活用による環境に優しいみなのづくりに向けて、関係機関と連携し、久々生(くびしょう)海岸の貴重なCO₂吸収源であるアマモ場の保全活動(海岸清掃)を実施します。また、海岸清掃後は、キレイになった海がより豊かになることを願い、真鯛の稚魚の放流も行います。

なお、今回の海岸清掃活動は、清水港湾事務所、静岡県、御前崎開港50周年記念事業実行委員会、御前崎港港湾建設工事安全協議会の共催で行います。

※¹ 植物は、光合成によって大気中のCO₂を吸収し、炭素を隔離します。海草(アマモなど)や海藻、植物プランクトンなど、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素のことを「ブルーカーボン」と呼びます。

1. 日時 令和4年12月15日(木) 13:30～15:00(予定)
(予備日:12月20日(火)、12月22日(木))

2. 場所 久々生(くびしょう)海岸

3. 参加機関

次ページに記載のとおり

5. 取材

・取材いただける報道機関の方は、12月14日(水)15時までに別紙に記載し電子メールにてお申込みください。

・当日は、13:20までに久々生海岸内にお集まりください。

・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証(腕章)等の着用をお願いします。

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日はマスク着用を徹底して頂くようお願いいたします。集合場所にて手指の消毒・検温を実施しますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。(38度以上の発熱がある場合、参加は遠慮願います。)

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

7. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 御前崎港事務所
櫻井(さくらい)坪倉(つぼくら) Tel 0548-63-4840



出典:国土地理院地図



久々生海岸におけるアマモ場の自生状況



海岸のごみ、流木の飛散状況

「参加機関」

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所、静岡県、御前崎開港50周年記念事業実行委員会(御前崎市、牧之原市、牧之原市議会、清水税関支署御前崎出張所、自衛隊静岡地方協力本部 袋井地域事務所、航空自衛隊御前崎分屯基地、海上保安庁御前崎海上保安署、静岡県立池新田高等学校、御前崎港ポートセールス実行委員会、スズキ(株)相良工場、御前崎港運(株))
御前崎港港湾建設工事安全協議会(青木建設(株)、大石建設(株)、(株)大澤組、(株)御前崎工務所、河津建設(株)、共和建設(株)、五洋建設(株)、相良建設(株)、(株)鈴木土建、鈴与建設(株)、静和工業(株)、東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、(株)橋本組、(株)不動テトラ、(株)古川組、(株)三井組、みらい建設工業(株)、りんかい日産建設(株)、若築建設(株))

メール送信先：pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

(国土交通省 中部地方整備局 清水港湾港事務所 宛)

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記事事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)

【記載事項】

1. 報道機関名

2. 取材者(複数名の場合は代表者)

- ①ご氏名
- ②ご役職
- ③取材人数

3. 連絡先

- ①電話番号
- ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)

4. 駐車場

アオキトランス株式会社 御前崎支店 指定駐車場

※駐車場を使用する場合は、駐車証をダッシュボードに掲示が必要です。

メール頂いた方には、駐車証を送付いたします。

申込締切：令和4年12月14日(水) 15:00



出典：国土地理院地図



出典：グーグルマップ